

# あの答弁は どうなった!

## 01 障がい者福祉の現状と今後の展望

議会だより第181号(令和元年5月1日)掲載

**Q** 「町立もちの木園」の運営状況。事業内容。利用状況。今後の課題と、その対策。

**A** 課題は、移転開所後およそ30年が経過し、老朽化が著しいことと、特別支援学校卒業生の受入れ体制を整えることなどが主なものである。

現在は

指定管理事業者と連携し、適正な維持管理と計画的な修繕を進めている。特別支援学校とは、連絡調整会議の場で、もちの木園を希望される方に対応している。

## 02 災害時用HP(ホームページ)

議会だより第184号(令和2年2月1日)掲載

**Q** 町民に、災害時用HPの存在を周知しているか。

**A** 現在は、災害時用HPの存在を住民に周知していないので、広報やHPなどで周知する。

現在は

定期的にHPのリニューアルを行っており、その際に広報あぐいへリニューアルを行う記事を掲載し、併せて災害時用HPの存在についても周知している。

## 03 災害対応

議会だより第190号(令和3年8月1日)掲載

**Q** デジタル化の中、罹災証明書は押印の問題があるようだが、スマートフォン、PCなど電子申請も可能にできないか。

**A** 今後、庁内における押印廃止と合わせて検討していく。

現在は

罹災証明書の押印は廃止され、マイナポータル・ぴったりサービスから電子申請が可能。

## 04 ヤングケアラーを早期に気づく視点

議会だより第190号(令和3年8月1日)掲載

**Q** ヤングケアラーの認知と周知。

**A** 国の啓発資材を活用し、住民や小中学生、関係団体への啓発を検討。

現在は

町HPへの掲載および関係団体への研修・周知を行っている。小中学生に対しては、県からの啓発資材を活用し、啓発を図っている。



北海道三笠市総合常任委員会の皆さん

11月7日(火)に北海道三笠市議会総会常任委員会の皆さんが「幼保小中一貫教育の取り組みについて」を調査事項に行政視察にいらつしやいました。学校教育課職員より「阿久比町幼保小中一貫教育プロジェクトのねらいと現在の取組概要」等を説明し、熱心な質疑や意見交換が行われました。正副議長・文教厚生委員が同席しました。

行政視察を受け入れました